

地域の未来につながる子どもの支援

—子どもの支援の取り組みが成人・高齢者の支援とつながるとき—

この研修では、日常生活に困り感や疎外感を抱えた子どもの支援の取り組みの現状や課題を紹介し、それが子どもだけにとどまらず、成人や高齢者の支援にもつながる可能性があることを学び合いたいと考えています。

研修の詳細は裏面をご覧ください

日 時 2024年3月24日（日） 受付開始 9時10分

研修 9時30分～16時

場 所 米子市公会堂2階 第6～7会議室 参加費 1000円(当日徴収)

申し込み メールか郵送かFAX（電話申し込み不可）申込期限2024年3月22日

主 催 鳥取県

生活支援スキルアップ研修会参加申込書 FAX0859-35-5648

| 連絡先 | 職 名 | 氏 名 |
|-------|-----|-----|
| 住所 | | |
| 所属 | | |
| 電話 | | |
| F A X | | |

E-mail machikura@eagle.ocn.ne.jp

郵送先・問い合わせ先 〒683-0816 米子市西倉吉町83-3 地域でくらす会内

地域で支える仕組み研究会 担当 井上徹 柴谷淳

電話 0859-35-5647 F A X0859-35-5648

2023 年度生活支援スキルアップ研修会西部地区

地域の未来につながる子どもの支援

9:10 受付開始

9:25 主催者挨拶

9:30 1、さまざまな子どもの支援の取り組み

① ケアラーバー(児童養護施設・里親家庭で育った人)への支援活動

(ケアラーバー支援の基金づくり・ネットワーク作り等) 9:30~10:20

話し手 株本俊夫・野津希望・松本弘一(ワーカーズコープ)井上徹(地域でくらす会)

聞き手 大谷志帆(児童家庭支援センターみそのセンター長)

② フリースクールづくりに取り組む 10:20~10:50

フリースクール「きょういく」米子校(米子市大谷町 342)の開設に向けて

話し手 大橋義和 聞き手 飯野佳世子・田村鈴代(介護家族の会)

(休憩 10:50~11:00)

2、虐待サバイバーの生きづらさ 11:00~11:40

虐待サバイバーとは、乳児期・児童期に虐待を受けたにもかかわらず、生命を落とさず無事に成長した人のことを呼びます。虐待サバイバーについて、当事者の方に、自身の体験も交えて話してもらいます。

話し手 ADHD 当事者 I さん 聞き手 渡邊なつみ(ゆっくりの会・つながろう会)

3、子ども食堂「さちカフェ」の取り組み 11:40~12:30

話し手 伊藤ひろえ(さちカフェ運営) 聞き手 柴谷淳(地域でくらす会)

(*午前中の1~3の報告には質疑応答の時間10分程度見込んでいます)

(昼休憩 12:30~13:30)

13:30 午後の部・テーマ「子どもと成人と高齢者の支援がつながるには」

4、午前中の話し手同士の対談+質疑応答 13:30~14:20

「子どもと成人と高齢者の生活支援の共通点」

野津希望(ケアラーバー)大橋義和(フリースクール) ADHD 当事者 I さん(虐待サバイバー) 伊藤ひろえ(子ども食堂) 司会 末次幸裕(米子市福祉政策課)

5、グループワーク (各グループのファシリテーターを仕組み研が担当)

テーマ「子どもと成人と高齢者の支援がつながるには」 14:20~15:00

話し手・聞き手・研修参加者でグループワークを行います

各グループからの発表 15:00~15:30

質疑応答と終わりの挨拶 15:30~16:00